

## 課題 No.7 01.txt の解答例

LC\_TIME 環境変数の効果を確認する.

0. 自分のシステム (次のどちらかを選択)

macOS

1. 最初の状態でdateコマンドを実行してみる.

以下には, dateの実行手順と, dateの実行結果を書くこと.

```
% date
```

```
2020年 7月14日 火曜日 20時41分05秒 JST
```

2. 日本語で表示された人は英語表示に, 英語で表示された人は日本語表示で実行する.

```
% export LC_TIME=C
```

```
# LC_TIME 環境変数を作り値をCにする
```

```
% date
```

```
Tue Jul 14 20:41:54 JST 2020
```

3. 使用できるロケール名の中からロシア語を見つけて,

dateコマンドにロシア語表記をさせてみる.

(言語コード, 国名コードはWikipediaなどで調べると良い)

以下には, 環境変数の変更手順と, dateの実行結果を書くこと.

```
% locale -a | less
```

```
# 使用できるロケール名を確認する
```

```
% export LC_TIME=ru_RU.UTF-8
```

```
% date
```

```
В Т О Р Н И К , 14 И Ю Л Я 2020 Г . 20:44:29 (JST)
```

4. 始めて聞いた言語で表示させてみる.

以下に, 言語名と国名を日本語で書いたあと, 手順と実行結果を書くこと.

クロアチア語, クロアチア

```
% export LC_TIME=hr_HR.UTF-8
```

```
% date
```

```
Ut 14 Srp 2020 21:24:51 JST
```

≡ Google 翻訳

⋮

📄 テキスト

📄 ドキュメント

言語を検出する

ロシア語

テルグ語

英語

▼

↔

日本語

英語

韓国語

▼

вторник, 14 июля 2020 г. 20:44:29 (JST) ×

2020年7月14日火曜日午後8時44分29秒 (JST)

言語を検出する

クロアチア語

ヘブライ語

ロシア語

▼

↔

日本語

英語

韓国語

▼

Ut 14 Srp 2020 21:24:51 JST ×

火曜日2020年7月14日21:24:51 JST

## 課題 No.7 02.txt の解答例

PATH 環境変数の効果を確認する.

0. 自分のシステム (次のどちらかを選択)

macOS

1. 最初の状態でPATH環境変数の値を確認する.

以下には, PATH環境変数の表示手順と実行結果を書くこと.

```
% printenv PATH
/usr/local/bin:/usr/bin:/bin:/usr/sbin:/sbin    <--- 長くなるので一部省略
```

2. ホームディレクトリ以下にbinディレクトリを作り自分専用のプログラム置き場にする場合を想定し, このディレクトリをPATH環境変数の値の最後に追加する.

以下には, PATH環境変数の変更手順と変更結果の確認手順・確認結果を書くこと.

```
% cat hello.c
#include <stdio.h>
int main() {
    printf("hello\n");
    return 0;
}
% cc -o hello hello.c                # helloプログラムを作り
% mkdir $HOME/bin
% mv hello $HOME/bin/hello           # ホームディレクトリのbinに配置する
% hello                              # 最初は実行できない
zsh: command not found: hello
% $HOME/bin/hello                    # helloプログラムのパスを明示すれば
hello                                # 実行できる
% PATH=$PATH:$HOME/bin               # PATHにbinを追加すると
% printenv PATH
/usr/local/bin:/usr/bin:/bin:/usr/sbin:/sbin:/Users/sigemura/bin
% hello                              # プログラムの名前だけでも
hello                                # 実行できた
```

別解

```
% PATH=$PATH:~/bin
% PATH=$PATH:/Users/sigemura/bin
```

3. 2.に続けてカレントディレクトリをPATH環境変数に追加して効果を確認する.

以下には, PATH環境変数の変更手順と効果の確認手順・確認結果を書くこと.

```
% mv $HOME/bin/hello .               # helloプログラムをカレントディレクトリに配置
% hello                              # 最初は実行できない
zsh: command not found: hello
% ./hello                            # パスを明示すれば実行できる
hello
% PATH=$PATH:.                       # PATHにカレントディレクトリを追加
% printenv PATH
/usr/local/bin:/usr/bin:/bin:/usr/sbin:/sbin:/Users/sigemura/bin:.
% hello
hello                                # プログラムの名前だけでも実行できた
```